



れいほうちゅう

霊峰中だより

第7号

2024年10月28日

霊峰中学校長

Tel: 45-3024

☆楽しかった文化祭 テーマ：夢限大 ～輝く私たち～

10月18日(金)に文化祭が行われました。

開祭式は生徒会長の挨拶に始まり、生徒会企画では、生徒議会からの動画発表と執行部メンバーのマジックショーで会場が盛り上がりました。続いて、

中学生のメッセージ2024で入賞したさんから、「恩送り

で広がる笑顔」と題した作文発表がありました。続いて、伊賀市非核平和

推進中学生広島派遣事業に学校代表として参加した、さんから活動

報告がありました。さんは、広島での式典に参加して感じたことや、広島で出会った人から学んだこと

を、映像とともに伝えてくれました。そして、10月2日に行われた伊賀市中学生議会に参加したさん

さん、さんから、議場での様子がよくわかる報告発表がありました。



各学年発表では、人権学習や職場体験学習等の学びを発信しました。

1年生は、山下完和さんからの聞き取り学習や、やまなみ工房訪問を通して学んだことから「障がいとは何か」について考える舞台発表を行いました。人権学習での学びや気づきを、日常生活と結びつけ

ながらわかりやすく伝えました。

2年生は、9月に行った職場体験学習に関わって学んだことを劇やプレゼンテーションを通して発信しました。自分たちで考えたシナリオやアイデアをもとに、工夫された発表ができました。

3年生は、広島修学旅行で学んだことを中心に発信しました。修学旅行での学びを、多くの映像や、ダンスパフォーマンス等を交えて発表しました。全員で行ったフィナーレの場面では、堂々とした



メッセージで会場全体に訴えるものがあり、感動的でした。

吹奏楽部は、演奏発表として吹奏楽コンクールでの演奏を映像で披露しました。コンクールの映像からは、緊張しながらも楽しんで演奏しようとする部員一人ひとりの気持ちが、その表情からよく伝わってきました。美術部は、各部員が制作した素晴らしい力作を数多く展示しました。そして、舞台では3年生が卒業制作の発表を行いました。卒業制作のスタンドグラスは、校舎の廊下に展示される予定です。来校時にぜひご覧下さい。



最後は各学年合唱。1年「星座」、2年「大切なもの」、3年「COSMOS」をそれぞれ合唱しました。生徒たちのみごとなハーモニーと堂々と胸を張って歌う姿は、とても素晴らしいものでした。

また、体育館には、家庭科、美術科、書道など、各教科の個性あふれる作品がにぎやかに展示されました。一人ひとりが持ち味をしっかりと表現し、まさに「夢限大」の力を発揮できた文化祭となりました。ご来場いただきました保護者の皆様、ご来賓の皆様、ありがとうございました。

《保護者の皆様へ》2～3ページに三重県教育委員会からの家庭学習の習慣化を呼びかける記事を掲載します。

ぜひご覧いただき、参考にしてご家庭でも取り組んでいただきますようお願いいたします。

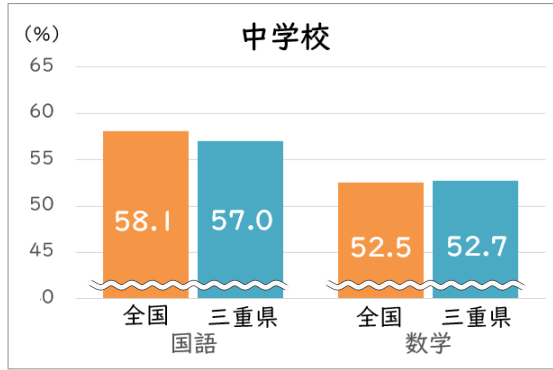
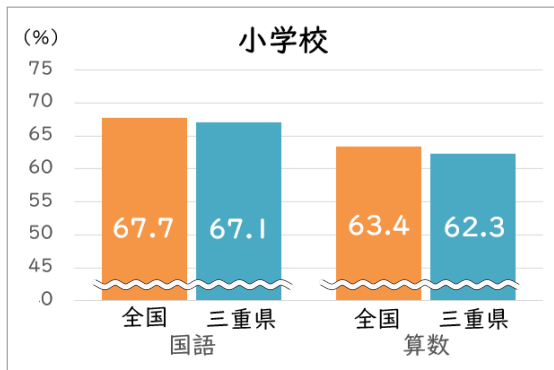
みえの子どもたちの家庭学習の習慣化を ～やる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけるために～

令和6年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の調査結果をお知らせします。

子どもたちのやる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけられるよう、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの学力を育てていきましょう。



子どもたちの各教科の平均正答率は？

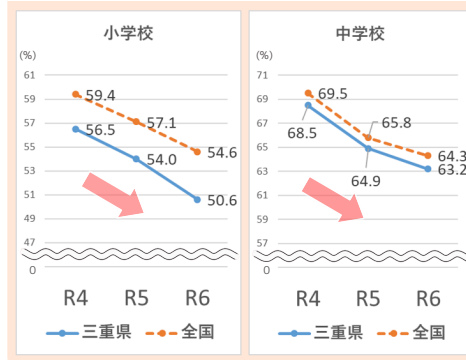


家庭での時間の使い方は？

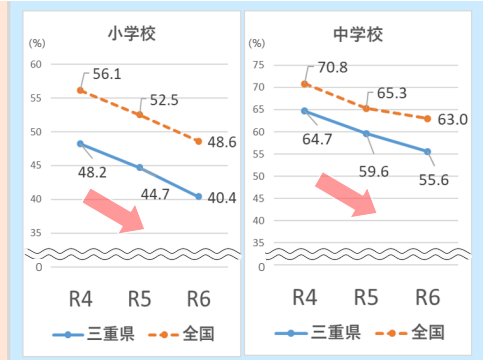
授業時間以外に1時間以上学習する児童生徒が年々減っています。



平日の学習時間（1時間以上）



休日の学習時間（1時間以上）



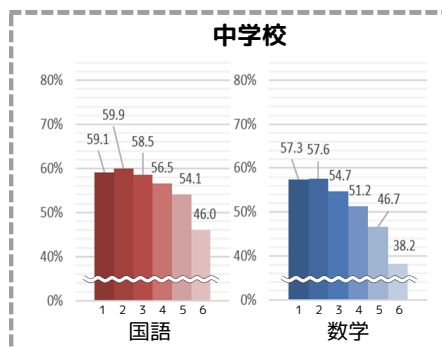
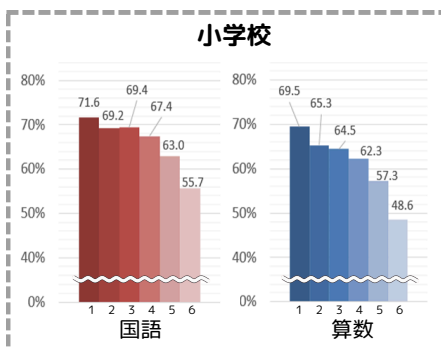
「平日の学習時間」と「平均正答率」の関係

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。



教科に関する調査の平均正答率

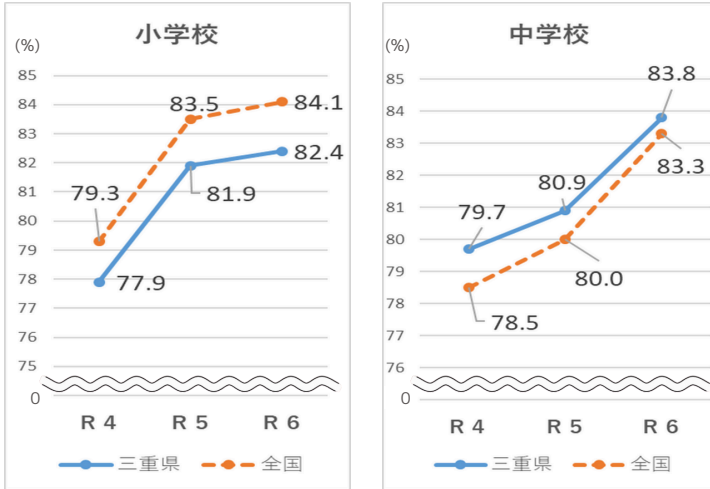
学校の授業時間以外での学習時間が長い子どもたちほど、教科の平均正答率が高い傾向がみられます。



- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上、3時間より少ない
- 3. 1時間以上、2時間より少ない
- 4. 30分以上、1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全くしない

子どもたちの自己肯定感は？

「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が年々上昇しており、自己肯定感が高まっています。



自己肯定感



「わかった」「できた」という達成感の積み重ねが大切です。

学習習慣等を身につけるために

家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業への集中力が高まります。また、いろいろな学習分野への興味・関心も高まります。

子どもたちに関わり、励ましながら、学びと育ちを支えていきましょう。

一緒にルールづくりを

- 家庭での学習時間を確保しましょう。学習時にはテレビを消すなどの環境づくりも大切です。
- 子どもたちが、ゲームやスマホ、インターネットを適切に使用できるよう、お子さんと話し合い、使用時間などの家庭でのルールづくりに取り組んでいきましょう。



子どもと本をつなごう

- 手の届くところに本を置くなどの工夫をしたり、読書の時間を設け子どもと一緒に本を読んだり、本について話し合ったりするなど、「家読(うちどく)*」に取り組みましょう。



*「家庭読書」の略語で「家庭ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動です。

早ね早おき朝ごはん

- 毎日同じぐらいの時刻に起床・就寝するなど、規則的な生活習慣を身につけることが大切です。
- 「おはよう」から始まり「いただきます」「行ってきます」と、一日を気持ちよくスタートさせましょう。



子どもをほめる機会を

- 子どものやろうとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、ほめていきましょう。
- 「なぜかな?」「どうしてそうなるのかな?」などの声かけが、疑問に思ったことを調べる習慣につながります。



みえの学力向上県民運動ホームページ

子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載しています。

アクセスしてね!

三重県教育委員会
マスコットキャラクター
「みえびい」

